

風をあつめて



第61号(校長室だより)
平成26年10月31日
貝塚市立東山小学校

例年より、秋の深まりがはやく感じられる今日この頃です。学校では、この2学期に、スポーツ・勉学・芸術を通じて、最後までやりとげてうれしかったという経験を、子どもたちにたくさん積ませたいと考えています。11月16日は日曜参観日です。人権学習の授業と音楽会を行いますので、どうぞ参観をよろしくお願いいたします。

あいさつする子
しっかり学ぶ子
たのしく遊ぶ子

○豊かな心を育みます

10/15・16

6年 ヒロシマでの平和学習

6年生は、修学旅行で全校児童がおった千羽鶴を「原爆の子の像」にさげしてきました。また、本川小学校や平和資料館の見学、碑めぐり、13歳で被爆された桑原千代子さんのお話を聞かせていただきました。28日は、児童集会で全校児童に報告をし、日曜参観で、保護者の方に平和について学んできたことを報告します。



○原爆を落とされて69年、世代を超えて見守られてきた世界遺産の原爆ドームの前にはいるんだと、ぼくは感激しました。平和公園の碑めぐりでは、それぞれの碑に意味と役割があると感じました。「平和の鐘」では、近くにいたおじいさんに、「鐘をうったら目をつむってしっかりお祈りをしないといけないよ。」など、いろいろ教えてもらいました。

○確かな学力の向上に努めます ○教職員の資質向上

10/2

大切なあなた 大切なわたし 6年研究授業

6年生が保健体育の授業で、生まれてから死ぬまでの「ふれあい」の変化について考えました。事後討議で元木島小学校の藤本ミエ子先生に、子どもたちの自尊感情を高め、他者を大切にすることを育てるための性教育についてお聞きしました。



○ぼくがお母さんのおなかにいたときは、あまり記憶にないけど、お風呂に入れてもらったり、だっこしてもらったりして育ててもらったから、両親のことをこれからも大切にしていきたいと思った。
○小さい頃からいろんな人とつながりを持ってたら、一生楽しく人と関わることができると思った。友だちともっと仲良くなりたいと思ったり、好きな人ができたり、複雑だけどしっかり考えられてよかった。

○確かな学力の向上に努めます

○豊かな心を育みます 10/22

たのしかったよ おいもまつり 1・2年

低学年が生活科で植えたサツマイモの収穫をいって、おいもまつりをしました。1・2年生混合の班で、お店屋さんやゲームの内容を考えたり、準備したりしました。



○アイスやさんをして、いっぱいうれました。わたしは、ならべるひとで、おおきなこえで「いらっしゃいませー」といいました。2ねんせいのリーダーも、もっとおおきなこえで「カップとコーン、どちらがいいですか。」とっていました。(1年生)

○ちがうお店にいくと、たべものやゲーム、おめんとかいろんな店があって、びっくりしました。ポテトは、本当にポテトににいていて、すごい考えたなと思いました。また、やりたいなあ。3年生になったら、お店はできないけど、らい年は、どんなおみせがあるのかな。(2年生)

○確かな学力の向上に努めます

○豊かな心を育みます 10/1

農業体験で稲刈りをしました 5年

5年生は、社会科で米作りの学習をします。今年度は、「JA 大阪泉州 食の教育応援事業」を受けて、三ヶ山の藪さんの田で、実際に田植えと稲刈りを体験させていただきました。ほとんどの児童が、はじめて田植えや稲刈りをし、その大変さを実感できた貴重な時間でした。11月には、収穫された160kgの精米の贈呈式が行なわれ、給食でいただく予定です。地産地消の学習にもなり、感謝しています。



○私は、初めて稲刈りをしました。それで、「農家の方々は、とても大変だな」「いつも、野菜や米を食べられるのは、農家の人のおかげだな」とわかりました

○これからは、一口でも多くのご飯をいただきます。最後に握手してもらったとき、ぼくはなんか優しい手だなと思った。たぶん、心を込めてお米を作ってくれているからだと思った。

○確かな学力の向上に努めます

全国学力・学習状況調査について

6年生を対象に全国学力・学習状況調査が4月に実施されました。その結果が、8月末に学校に送られ、6年生には、9月下旬に個人情報としてお渡ししました。今回は、本校の傾向や今後の取組についてお知らせします。

○国語

・「主として知識に関する問題」は概ねできている。特に「話すこと・聞くこと」の問題の正答率が高い。しかし、「主として活用に関する問題」においては、「立場を明確にして、自分の質問や意見を記述する問題」や「分かったことや疑問に思ったことを整理し、それらを関連付けながらまとめて記述する問題」などに課題がある。

○算数

・計算や数量の性質などの「主として知識に関する問題」の正答率が高い。しかし、割合の問題で0.4倍のように割合が1より小さい場合に、正しい式を選択できない状況がある。また、「主として活用に関する問題」も正答率の向上が見られるが、「示された情報をもとに、筋道を立てて考えたり、記述したりする問題」については、まだ課題がある。

○学習状況調査(児童アンケート)

・学習に関しては、「授業で友だちと話し合う活動がよくある。」「授業のはじめにめあてを示し、最後に振り返りをよくしている」「家で学校の宿題をする。」「算数の勉強は大切だ。」などの項目に肯定的な回答が多い。(9割~10割)
・自分に関しては、「学校のきまりを守っている。」「物事を最後までやりとげてうれしかったことがある。」などの項目に肯定的な回答が多い。(9割以上) 反面、「友だちに伝えたいことをうまく伝えることができる。」の項目に肯定的な回答は約6割強だった。

○今後の取組

学校全体で、授業規律・学力保障・「教えて考えさせる授業」などに取り組んできた成果が現れていると感じます。これらの取組を継続させながら、今後も、活用する力の強化や自尊感情の育成に力を入れていきたいと考えています。
①学び合い活動で自分の考えを自分の言葉で伝える活動を充実させます。
②国語で「話す・聞く能力」をさらに伸ばすとともに、目的や意図に応じた「書く能力」の育成に取り組めます。各教科とも、資料やグラフなどを扱う教材をより丁寧に指導します。
③算数のチャレンジ問題などで、生活に即した問題を増やします。
④何事にも挑戦する心を育てるため、学校教育活動全体を通して、人間関係づくりや自尊感情を高める取組を引き続き推進します。

少年の主張大会

コヌモシアター(中ホール)

十一月二十九日(土)午後一時三十分

市内十一校の小学生が自分たちの考えや思いを発表します。東山小学校は、6年生の竹田愛さんが、「生きていることに意味がある」を発表しますので、応援してください。